

## 利尻島沿岸部におけるアビ *Gavia stellata* の観察記録

田牧和広

〒 097-0211 北海道利尻郡利尻富士町鬼脇字清川

### Observational Records of Red-throated Diver, *Gavia stellata*, from Coastal Shores of Rishiri Island, Northern Hokkaido

Kazuhiro TAMAKI

Kiyokawa, Oniwaki, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0211 Japan

北海道では冬鳥として普通に観察されるアビ *Gavia stellata* は（日本鳥類目録編集委員会, 2000）、利札航路上においてオオハム *G. arctica* とともに記録されてきた（杉村, 2004; 2005）。その一方、利尻島沿岸部においては近年オオハム、ハシジロアビ *G. adamsii* は確認されているものの（小杉, 2000; 小杉ほか, 2005）、アビの観察記録はこれまで非常に稀で、最近の観察例はなかった（Brazil, 1991）。筆者は2006年と2007年に本種を利尻島南部の海岸において確認することができたので、ここに報告する。

最初の観察は2006年11月24日に、利尻富士町二石地区の沖合50～100mにて1羽を確認することができた（図1）。波の高さ5mを超える時化

の中、ウミアイサ、シノリガモ、ウミウ、カモメ類等と群れながら、頻繁に潜水行動を繰り返していた。大きさはオオハムより少し小さく、首はほっそりと長めに見えた。反り返った嘴、背上面に白い小斑が見られ、額、頭頂、後頸までが灰褐色で、頬、喉、胸、腹部下面が白く、成鳥冬羽と思われた（真木・大西, 2000）。

次は2007年10月24日から26日にかけて、利尻富士町二石地区海岸および沖合10～100mの距離に1羽を観察した（図2）。海岸の岩陰より観察を行ったところ、波打ち際付近ではユリカモメ、ウミアイサ、ウミウ、ヒメウと混じり、潜水行動を繰り返していた。その後、筆者の姿に気づき沖合へと飛翔したが、約15分後には再び泳いで波打ち際ま



Figures 1-2. *Gavia stellata*. 1. Nov. 24, 2006; 2. Oct. 24-26, 2007.

でもどった。本個体も反り返った嘴などの特徴からアビと判断されたが、成鳥冬羽とは異なり、頬や喉が白くなく灰色を帯びており、幼鳥と思われた (Harrison, 1983; Jonsson, 1993; 真木・大西, 2000; Sibley, 2000; Svensson, 2000)。

#### 参考文献

- Brazil, M. A., 1991. *The Birds of Japan*. 448 pp. Christopher Helm, London.
- Harrison, P., 1983. *Seabirds -An identification guide-*. 448 pp. Houghton Mifflin, New York.
- Jonsson, L., 1993. *Birds of Europe with North Africa and the Middle East*. 559 pp. Helm, London.
- 小杉和樹, 2000. 利尻島における月別鳥類出現リスト. 寺沢孝毅 (編), 北海道島の野鳥, 150-155 pp. 北海道新聞社, 札幌.
- 小杉和樹・田牧和広・佐藤雅彦, 2005. 利尻島における鳥類の新分布および稀少種の記録 (3). 利尻研究, (24) : 5-9.
- 桐原政志・山形則男・吉野俊幸, 2000. 日本の鳥 550. 水辺の鳥. 文一総合出版, 352 pp.
- 真木広造・大西敏一, 2000. 日本の野鳥 590. 平凡社, 655 pp.
- 日本鳥類目録編集委員会, 2000. 日本鳥類目録. 改訂第6版. 日本鳥学会, 京都, 345 pp.
- Sibley, D., 2000. *The Sibley Guide to Birds*. 544 pp. Alfred a Knopf, New York.
- Svensson, L. & P. J. Grant, 2000. *Birds of Europe*. 392 pp. Princeton Univ. Pr., Princeton.
- 高野伸二, 1995. フィールドガイド日本の野鳥・増補版. 日本野鳥の会, 343 pp.